

## 難題を抱えるバイデン政権

～2024 年米大統領選挙の行方～

明治大学 政治経済学部  
教授 海野 素央

### アジェンダ

- トランプの選挙戦略
- トランプ起訴のドミノ倒しと選挙への影響
- バイデンの難題
- バイデン選対とトランプ選対
- トランプの単一文化連合軍
- バイデンの異文化連合軍
- バイデンの選挙戦略
- 20年米大統領選の選挙モデルは24年でも有効か？

た。その結果多くの国民の生の声をバージニア州のみならず、ノースカロライナ州やコロラド州の貧困地帯を多く回った記憶があります。黒人層の獲得を狙い、彼らの居住地区を訪ね怖い思いも多くなりましたが、そのような中、ヒラリー・クリントン夫人がアメリカンドナツを大量に差し入れ労ってくれました。

また、極寒のアイオワ州やマンハッタン、デトロイトでの戸別訪問も良い思い出です。



海野でございます。今日は、米国の大統領選挙でのバイデン氏とトランプ氏についてのお話をさせていただきます。それに先立ち、私がこれまでどのような研究をしてきたのかをご紹介します。2012年5月5日、激戦地バージニア州にオバマ元大統領の選挙対策事務所があり、そこで1年間研究活動を致しました。当時はアメリカン大学の客員研究員でしたのでオバマ・スタッフの仲間として、中間選挙を含め4,400件以上の戸別訪問を展開しました。



2020年にはトランプ氏の対抗馬の民主党大統領候補として立候補したバイデン副大統領のフィラデルフィアでの集会に参加し、バイデン氏とジル夫人にお会いしました。また、ミシガン州とオハイオ州のバイデン選挙対策事務所でお手伝いできました。



## バイデンの演説

- バイデンを紹介する人物 黒人や労働者が多い
- 演説の際、バイデンの背景に黒人、女性、労働者
- 米国に神のご加護がありますように。米軍に神のご加護がありますように

## ジル夫人の発言＝バイデン陣営の本音

- トランプ2回目の起訴
- 意図的な国家安全保障の情報保持など 37の罪
- 世論調査結果 共和党内でトランプ支持拡大
- ジル夫人 NYC
- 「彼ら（共和党支持者）は起訴を気にかけていません。少しショックです」
- バイデン陣営は2回目の起訴で共和党支持者がトランプ支持を再考し始めることを期待？
- 4回目の起訴 トランプ支持拡大

さらに2021年1月から、共和党はハリス副大統領を次期民主党大統領候補の本命とみて、大量の攻撃を浴びせました。バイデン陣営としても全力を挙げて彼女のテレビや演説会場での露出を多くし、ハリス氏の活躍をアピールしています。

## ハリスの反転攻勢

- 21年1月～共和党・ブライドバート・米FOXニュースなど
- ハリスを集中攻撃
- 24年米大統領選挙はハリスが本命と予想
- バイデンはつなぎ
- スタッフのゴタゴタ
- 難題→移民問題担当 バイデンの期待
- ハリスの支持率低下



彼の支持者にはQアノン(陰謀論者)や銃と神とトランプしか信じない極端な右派勢力など様々な白人至上主義者が多く含まれています。

日本でのバイデン氏の印象は、高齢のためよく転ぶとか認知症だとかマイナスイメージが強いのですが、大統領就任後2年間で、超党派で300件を超える法案を通してきた実力派です。

バイデン氏の演説には特徴があり、黒人や労働者を支持基盤にスピーチする背後には多くの黒人、女性や労働者を立たせ、人種差別傾向の強いトランプ氏との違いをアピールしています。

また、以前、モデルであり現在、大学教授のバイデン夫人ジルさんも、度重なる起訴にもめげずに共和党内で支持を拡大しているトランプ氏に厳しいコメントを発しています。



## ハリスの反転攻勢

- バイデン陣営はハリスを積極的に活用
- バイデンの24年大統領選挙出馬ビデオ (3分4秒)
- ハリス13回登場
- ジル夫人と抱き合う意味
- 人工妊娠中絶
- バイデン カトリック教徒
- だが人工妊娠中絶容認 白人男性
- 人工妊娠中絶 黒人 ヒスパニック系

次に、トランプについてですが、左の写真は彼の得意なポーズで、自分の強さを強調しています。また頻繁に指をさし、熱狂的な支持者にさらに自分をアピールしています。



## トランプの選挙戦略

- 選挙と裁判が同時並行で進行
- 選挙戦略に裁判を組み入れる
- 裁判と選挙を融合した選挙戦略
- 前代未聞の選挙戦略

来々(2024 年)の3月4日に 2021 年1月に起きた議事堂乱入事件の初公判が予定されていて、その結果次第では翌3月5日の予備選挙(スーパーチューズデー)に大きな影響を及ぼします。しかし、プロデューサーの経験もあるトランプは、この逆境を自分に有利なものに転換する技も持っています。3回目の起訴案件でトランプが勝つと、連邦レベルでの勝訴は恩赦や捜査取り下げが可能なためトランプ陣営としては全力でこれに取り組むものと思われる。

## 恩赦と捜査

- 3回目 連邦レベルの起訴
- 自己恩赦が可能
- 捜査の取り下げ可能
- 恩赦はジョージア州法違反の罪に適用されない
- 有罪になった場合、収監を免れるのは困難
- 捜査中止を命じることができない

右はバイデン陣営が抱える4つの悩みを表しています。次男のハンター氏はTi k To k 始め中国ビジネスへの深入りの結果、国家安全保障問題を招きました、ウクライナビジネスにおいてもゼレンスキー支援の長期化を招いているとの批判が出ています。次に、前回2020年の時から懸念されていたバイデン現大統領の高齢問題は次期選挙で再選されると就任時には81歳となり、多くの有権者がその職務執行に不安を感じています。

## 高齢と対策

- ホワイトハウス ジャンピエール報道官
- 19、20、22年 年齢について批判を受ける
- 大統領は批判を乗り越えてきた
- 実績 インフラ投資法案、インフレ抑制法案、薬価引き下げの交渉など
- 20年米大統領選挙 8000万票以上獲得 歴史的
- 経験、知恵、実績

テレビ討論会を2回続けて欠席したトランプ前大統領は、選挙戦に裁判を組み入れるという前代未聞の戦略を取っています。4回起訴されて91件の罪に問われている彼は、自分はバイデン陣営による司法省を巻き込んだトランプ攻撃の犠牲者であると一連の起訴事件を逆手に取り、自分の名前の露出を選挙戦に利用しています。選挙と裁判を融合させた初めての試みです。

## 初公判と選挙への影響

- 3月4日 初公判
- 3月5日 スーパーチューズデー
- 予備選挙と党員集会が集中
- バイデンに対する抗議の票がトランプに集まる

- 予備選挙の序盤戦
- 中西部アイオワ州、東部ニューハンプシャー州、西部ネバダ州、南部サウスカロライナ州で勝利すれば、影響を最小限に抑えることができる

4回目のジョージア州での裁判ではテレビで生中継される可能性がありその結果が注目されますが、陪審員の人種構成によりその内容が大きく左右されそうです。ラマスワミのようなトランプ・コピーのクローン候補者がテレビ討論会に出ないトランプの代弁者となって陣営の選挙戦略を支えています。

## バイデンの4つの難題

- 経済
- 次男ハンター
- ウクライナ
- 高齢

この高齢問題への対策としては2019年から批判を受けてきましたが、国民生活安定のための数々の法案を通してきたバイデンのこれまでの実績を強調し、また、今年2月のウクライナ訪問時の40時間に及ぶ強行軍にも耐える体力があり、自らの健康ぶりと安定感、安全さ、誠実さをアピールしています。

## バイデン選対

- 選対本部長
- ジュリー・チャベス・ロドリゲス (45)
- メキシコ系米国人女性
- ホワイトハウス元上級顧問
- 20年米大統領選挙 選対副本部長
- 祖父は労働組合の幹部で農場労働者のリーダー
- セザール・チャベス

一方、トランプ陣営は政治コンサルタントであるワイルズ女史を本部長に据え、中高年の白人男性を支持基盤に従来通りの単一文化連合で選挙戦を進めようとしています。ヒスパニック票と労働者及び退役軍人票をめぐる両陣営が熾烈な獲得競争を展開することになります。

## バイデン選対とトランプ選対

- 年齢と人種
- **バイデン選対**
  - 若い選対幹部
  - 異文化連合軍の強化
  - ヒスパニック系と黒人の票
- **トランプ選対**
  - 上級顧問 白人男性中心
  - 40代後半～50代後半

## バイデンの「労働者票」獲得戦略

- **バイデンの哲学と信念**
- **中間層が米国を築き、労働組合が中間層を築いた**
- トランプはパークアベニューから世界を見る。私はペンシルベニア州から世界を見る
- (大企業や富裕層への減税措置をする) トリクルダウン理論は失敗した
- (中間層を拡大し貧困層を底上げする) バイデノミクスは機能している
- **バイデノミクス 労働者のための青写真 格差を埋める経済政策**
- **マガノミクス 富裕層/大企業に減税**

バイデン陣営としては選挙対策本部長にメキシコ系米国人女性のロドリゲス氏を据え、ヒスパニック系と黒人という異文化連合で支持拡大を進めようとしています。また、気候変動問題に敏感な若者にも学生ローンの返済免除等を展開し支持基盤を固めています。女性、黒人、ヒスパニック、若者がバイデン陣営の主要なターゲットになっています。

## トランプ選対

- **スージー・ワイルズ (66)**
- **トランプ陣営の財産**
- **政治コンサルタント**
- **父親 ニューヨーク・ジャイアンツの元アメフト選手**
- **16年/20年米大統領選挙 トランプ勝利に貢献**
- **18年フロリダ州知事選 デサンティスを勝利に導く**
- **デサンティスの「強さ」と「弱さ」を理解**

来年の米大統領選挙において、バイデン陣営はトランプ陣営の単一文化連合軍から労働者と退役軍人の票を、トランプ陣営はバイデン陣営の異文化連合軍からヒスパニック票をそれぞれどれだけ獲得できるかが鍵となります。

## トランプはバイデンの異文化連合軍をどう崩すのか？

- **ヒスパニック票を標的**

## バイデンはトランプの単一文化連合軍をどう崩すのか？

労働者と退役軍人を標的

バイデンとトランプの政治姿勢の違いを端的に表しているのが左記のとおりです。富裕層・大企業を相手に高所得層が住むパークアヴェニューから世界を見るトランプ、他方、ピッツバーグ等ラストベルト地帯の労働者層の多いペンシルベニア州から世界を見るバイデンというのが端的にその違いを表しています。

退役軍人に対するバイデンの主な施策は右記のとおりです。戦時中の有毒物質に害された彼らとその家族に対する手厚い給付により、この層の票獲得を狙っています。

### バイデンの「高齢者票」獲得戦略

- 政府が製薬会社を相手に薬価の引き下げ交渉
- インフレ抑制法案（22年8月成立）
- 第1弾 10品目（抗凝固薬、白血病治療薬、糖尿病治療薬、心不全治療薬）
- 900万人の高齢者 年間処方箋 6497ドル（約95万9600円）自己負担
- 高齢者向け公的医療保険（65歳以上）約6600万人加入
- 大手製薬会社 4億ドル（約590億円）費やしてロビイングを行い薬価引き下げ阻止を試みる

また、年収 40 万米ドル(約 5,900 万円)以下の中間層(?)には、2020 年の大統領就任以来、一切、所得税の増税をしていません。

### 20年米大統領選の選挙モデルは24年でも有効か？

- 20年米大統領選挙 新型コロナウイルス禍
- 対象的な選挙モデル
- **トランプ**
- **大規模集会・熱意/熱狂・強いリーダー像**
- **バイデン**
- **小規模集会・冷静な判断・共感するリーダー像**

コロナ禍で国民が苦しんでいる時でも株価が気になるトランプ前大統領に対し、辛い思いをした国民に共感を与えることのできるバイデン現大統領。トランプ前大統領は、常に対立構図で物事を進めるトランプ流を来年の選挙でも活用します。

### バイデンの「退役軍人票」獲得戦略

- **パクトアクト法 (PACT: Promise to Address Comprehensive Toxics ACT) 成立 (22年8月10日)**
- **有毒物質にさらされた退役軍人に対する医療と給付金受給の資格の拡大**
- **有毒物質が原因で死亡した退役軍人の妻と2人の子供月2000ドル(約29万円)給付**
- **34万人以上の退役軍人が恩恵を受ける(1年間)**

高齢者に対するバイデンの主な施策は、薬価の引下げにより支持基盤を強固なものにしようとしています。この施策に対しては高齢者の7割以上が賛同しています。特にインシュリンの処方箋には月35米ドルの上限を設定し多くの支持を得ています。

### バイデンの「中間層票」獲得戦略

- **20年米大統領選挙 公約**
- **年収40万ドル(約5900万円)以下**
- **増税せず**

常に強い自分をアピールするトランプに対し、冷静沈着を印象付けるバイデンは、2024年の選挙でも同じ戦略で戦い続けるのか。

### 20年米大統領選の選挙モデルは24年でも有効か？

- **トランプ**
- **分断促進型コミュニケーション**
- **労働者対不法移民**
- **警察官対不法移民**
- **ミスリーディング・コミュニケーション**
- **米国とメキシコの国境の「壁」建設 未完成**
- **公約を守るリーダーの演出**

## 20年米大統領選の選挙モデルは 24年でも有効か？

•バイデン

•共感型コミュニケーションスタイル

•COVID-19の犠牲者、家族、友人

•人間の死や悲しみを理解し寄り添うリーダー

一方、共感を軸に選挙戦を進めたバイデン陣営は、コロナがほぼ終息した今日でも有効な戦略なのか難しいところです。前回の選挙戦はコロナ、今回はトランプ被告の裁判が鍵となります。

## 20年米大統領選の選挙モデルは 24年でも有効か？

•24年米大統領選挙のモデル

•大規模集会・熱意/熱狂・誠実/正直なリーダー像

•古典的なリーダーシップ論

•特性論

## まとめ

•バイデンは難題を乗り越えることができるのか

•経済、次男ハンター、ウクライナ、高齢

•トランプ裁判を利用して、誠実/正直なリーダー像を描けるのか

最後にまとめますと、4つの難題すなわち経済問題、次男ハンターのスキャンダル、ウクライナへの軍事支援継続か否か、高齢者対策をこの4年間の実績も踏まえどう有利に政策展開できるかがバイデン陣営の鍵となります。一方、トランプ陣営は自らの裁判を魔女狩りと呼びスケープゴート化し現政権民主党攻撃に結びつける材料とし、同情票をかき集める作戦を取ります。

## 【質疑応答】

Q：トランプが再び政権を握った場合、わが国にはどのような影響があるか教えてください。

A：トランプの興味は日本より中国で、貿易面で大企業にとって有利な政策を取ってくると思います。また、今回は安倍元首相が良好な関係を築いてきましたが、G7参加の今の各国首脳の中でトランプと上手くやれるリーダーがいるのか甚だ疑問です。議長国としての議事のまとめも非常に厳しいものになると思います。

Q：バイデンのこれまでの外交は上手くいっておらず、中東友好国との良好な関係作り、アフガニスタンからの米軍撤退や台湾問題での国務省との足並みの乱れ等、政治能力はあまり芳しくないと思います。2013年に中国が防空識別圏を設定した時に、次男のハンターが中国に近づき尖閣諸島について日本にとって不利な状況が強まりました。片や、トランプの方がIS(テロリスト集団)に対する処し方や北朝鮮の金正恩との会談を通じ国連で日本の拉致問題を2回も取り上げてくれる等、我が国にとってありがたい存在と思いますが、先生はどう思われますか？

A：そのような見方もあると思いますが、中国はバイデンよりトランプの方が組みし易いと思っています。その理由はQUAD、AUKUSを作ったバイデンが嫌いで中国からするとバイデンはやり難い相手です。中国をけん制する意味では日本にとってバイデンが勝利する方が好ましいと思います。

Q：不正選挙の疑いが前回の選挙で大問題となりましたが、これは米国の選挙制度自体に問題があるように思います。今度の選挙で何か改善策とか対応策というものが用意されているのでしょうか？

A：ロシアと中国による大統領選挙への介入が懸念されますが、かつてトランプが持ち出した機密情報の中にウクライナに関する情報があり、それをロシアに渡すのではないかというワシントンポスト紙の推論があります。その見返りとしてトランプはロシアによる次の大統領選挙への協力(介入)を求めるのではないのでしょうか。もともとトランプの主張はウクライナ支援の資金は、むしろメキシコとの「国境の壁」作りに振り向けるべきという考えです。あまり良好ではないゼレンスキー・ウクライナ大統領とトランプとの関係からすると、残念ながら今回もロシアの介入は避けられないと思います。

Q：トランプがなくてもバイデンがなくてもどうしようもないと思っています。どうしてもっと期待の持てる若々しい候補者が出て来ないのか、これは米国の民主主義の劣化が原因だと思いますが先生はどうお考えでしょうか？

A：他国に対して常にオープンである民主主義国家は専制独裁主義国家に比べ侵入しやすいという面で民主主義国家はぜい弱だと言えます。また若い候補者がいない中で共和党ではトランプに対抗できるものが出て来ない状況です。その結果、2020年選挙の再現の可能性が高くなっています。バイデン対トランプの時代が過ぎ、次の世代が出てくるまではこの状況が続くのだと思います。

## 海野 素央(うんの もとお)先生のプロフィール

### 【略 歴】

明治大学政治経済学部 教授 (心理学博士)

アメリカン大学 (ワシントン DC) 異文化マネジメント元客員研究員

専門は異文化間コミュニケーション論、異文化マネジメント論

2008 年と 2012 年米大統領選挙で、研究の一環として日本人で初めてオバマ陣営にボランティアの草の根運動員として参加。激戦州南部バージニア州などで 4200 軒の戸別訪問を実施。

2010 年、2014 年及び 2018 年中間選挙において、下院監視・説明責任委員会並びに外交委員会に所属するコノリー議員の選挙運動に加わる。

2016 年米大統領選挙ではクリントン陣営に入る。中西部アイオワ州、ミシガン州、東部ニューハンプシャー州、ペンシルベニア州など 11 州で、3300 軒の戸別訪問を行う。

2020 年民主党大統領候補指名争いでは、バイデン陣営とサンダース陣営で戸別訪問を実施。南部サウスカロライナ州などで黒人の多い地域を回る。

### 【主な著書・論文】

『オバマ再選の内幕』(同友館) など多数

現在ウエッジオンラインに「2024 年米大統領選挙への道」を連載中

以上